

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

山口県宇部市立原小学校

校長 石田 恭二

1 単元名 「世界へ、未来へ、つなげよう！わたしたちと“食”」

2 単元の目標

- 環境問題に対する日本や世界の実態取組や宇部市の取組を調べる活動を通して、環境問題の現状とその原因について理解できる。 (知識・技能)
- SDGs推進室の情報から調べた宇部市の取組をもとにして、自分たちにできる取組は何かを考え、地域に発信する活動を工夫できるようにすることができる。 (思考・判断・表現)
- 環境問題に取り組んでいる宇部市の様子に関心をもち、これからも住み続けられるために何が出来るのかを意欲的に考え、発信することができる。 (主体的に取り組む態度)

3 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①世界で起きている環境問題について調べることができる。 ②宇部市で取り組んでいるSDGsやその取組について理解することができる。	①他のグループの発表を聞いて、世界の環境問題について、自分たちの調べたことと比較しながら考えることができる。 ②自分たちにできる取組を、世界や日本、宇部市の取組と関連付けながら発表することができる。	①ポスターセッションやわたしプランの発表会で、意欲的に意見交流ができる。 ②未来で起きそうな問題点を自分事として考えることができる。

4 単元について

(教材観)

今、日本では食品ロスの問題が叫ばれている。私たちは豊かさや便利さに慣れ、昔ほど食料を処分することへの抵抗感も感じなくなってきている。一方で、世界に目を向けてみると飢えに苦しみ、安全な水さえ確保できない国々も少なくない。そのような中、「食」に視点を当て、地球に生きる一員として私たちができることやこれからの未来に続くための食の在り方について考える学習を行うことは、これからの持続可能な社会の一員として生きていく子どもたちにとって大変意義深く、価値のあることである。

(児童観)

本市は、2018年6月に「SDGs未来都市」に選定され、「持続可能なまちづくりを実現するとともに、その取組を世界に発信していきます。」と宣言し、「魅力・活力・人材にあふれた『共存同栄・協同一致』のまち」を目指して取り組んでいる。しかしながら、「SDGsって何？」というのが、児童や保護者、地域の皆様の現状である。また、テレビのニュースや様々な番組、新聞等で、食料問題や環境問題等の情報を得ている児童ではあるが、それは他国のこと、他の地域のことといった他人事のようにしか思っていないのが多くの児童である。

(指導観)

そこで指導にあたっては、社会科の「食料生産とわたしたちの暮らし」で、「米作りの問題と取組」「つくり育てる漁業」「輸入にたよる日本の食料」等の内容について学習している。これらの学習経験から、本単元の導入を行っていきたい。また、各国や国内の各地域で起こっている環境問題を、他人事レベルから自分事レベルへと変化させていくために、宇部市SDGs推進センター長をゲストチャーに招いて、世界の食糧問題と日本の食費ロスの問題を関連させて考えさせたり、宇部市の具体的な取組の例を紹介してもらったりしたい。また、「世界へ！未来へ！つなげる『わたしプラン』」の発表を参観日に行うことにより、児童の意欲

を高めるとともに、SDGs 未来都市である宇部市の一員としての意識付けを保護者や地域の方々にも行っていきたい。

なお、本単元では近年、国連でも取り上げられた ESD の視点の有限性・循環性と責任性に重点をあてていく中で、SDGs の 17 の目標の中から「2 飢餓をゼロに」を中心に、「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」を関連させながら学習を進めていくこととする。

4 単元計画

主な学習活動	指導上の留意点	評価	ESD の視点	資質能力
1次 学習課題を設定しよう！（2時間）				
①給食の残食や宇部市の食品ロスのデータを提示し、問題意識をもつ。 ②ユニセフの動画を視聴し、学習課題を設定する。	・知識のない子どもたちがどんな事柄を学習するのかを掴めるように、調べる対象のキーワードを提示する。	ウ② ア①	有限性	長期的思考力
2次 今の世界で起きていることを調べよう！（6時間）				
②③④⑤今、世界で起きている環境問題（食料問題）について調べ、まとめる。 ⑥⑦調べたことをもとに、意見を交流する。（ポスターセッション）	・書籍とインターネットのよさを理解しながら事実と意見を分けてまとめられるように支援する。 ・ポスターの図や写真、絵と話す内容を一致させられるように話し方の指導を行う。	ア① イ①	有限性	システムズシンキング 協働的問題解決力 クリティカルシンキング
3次 未来の世界で起きるかも知れないことを考えよう！				
⑧ゲストティーチャーを招き、今の生活と未来との関係について考える。 【本時】 ⑨⑩未来で起きるかも知れない問題を解決する方法を調べる。 ⑪⑫未来で起きるかも知れない問題について意見を交流する。	・ゲストティーチャーとの交流を通して、世界の事が自分事として捉えられるようにする。 ・今後、日本でも起こりうる問題について考察できるように資料を提示する。 ・パネルディスカッションを通して、自分にできることを考え、発表できるようにする。	ウ② ウ② イ②	責任性 相互性	長期的思考力 システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
4次 世界へ！未来へ！つなげる「わたしのプラン」をつくろう！（6時間）				
⑬⑭3次までに調べ、考えたことをもとに「わたしのプラン」についての討論会を開き、自分の案を提案する。 ⑮「わたしのプラン」についての構想を練る。 ⑯⑰「わたしのプラン」をまとめる。 ⑱ 意見を交流し、学習のまとめを行う	・社会・経済・環境の視点を示し、今後の自分の生活に生かしていけるように具体的に自分が取り組むことを決めて提案書を書けるように支援する。 ・全体での交流を通して、実現	イ②	責任性	コミュニケーション力 システムズシンキング

う。	可能な行動に移せるようにする。			
----	-----------------	--	--	--

5 本時案

(1) ねらい

これまで調べてきた食糧問題に関わる事実と現在、宇部市が進めている取組を関連付けて考えることを通して、自分たちの生活の中でも実践できることがないか考え、これからの生活に生かしていこうとする意欲を高める。

(2) ゲストティーチャー (GT) 宇部市SDGs推進センター長 小檜山 大介 様

(3) 準備物 食糧問題についての動画・ワークシート

(4) 学習過程

学習活動・学習内容	子供の意識の流れ	○主な支援
<p>1 世界の食糧問題と日本の食品ロスの問題を関連させて考え、本時の学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の食糧問題 食糧問題と日本の食品ロスの関連 学習課題の設定 宇部市の取組の理解 	<ul style="list-style-type: none"> これまで世界でどんな問題が起きているのか調べて、よく分かったよ。世界では大変な問題がたくさんあるのだな。 日本が捨てている食料があれば、世界の人々が救われるなんて考えていなかったな。自分たちにできることってないのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の食糧問題をどう感じているのか感想を出し合い、現時点での子どもたちの考えを共有する。 ○食糧問題についての動画を視聴し、世界の食糧問題と日本の食品ロスの問題には大きな関連があることに気付かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">地球に住む一人として自分たちにできることはあるのだろうか？</div>		
<p>2 SDGsに関わる宇部市の取組を知り、食糧問題を含めた世界の課題に対して、自分たちにもできないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsに関する宇部市の取組の理解 地球に住む一人としての自覚と実践意欲と責任の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは食品ロスを無くすには、給食を残さないことで協力できると思うよ。スーパーでの賞味期限や消費期限に気を付けて買物をするのもいいね。 ・世界で起きている問題は日本にも関わる問題なのに、宇部市では何か取組をしていないのかな？ ・宇部市ではフードバンクなどを行ってなるべく食料を捨てずに済むように努力しているのだな。 ・どうして宇部市はこんなにも色々な取組をしているのだろうか？SDGsって何だろう？ ・食糧問題以外にもプラスチックを減らすエコな取組もしているのだな。 ・給食にマイ箸を持ってくることも環境を守るための取組なんだな。 ・こうやって考えると普段何気なくやっていることも世界の課題を解決することにつながるのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちにできそうなことを考えることで、自分事として食糧問題を解決しようとする態度を育てられるようにする。 ○宇部市の具体的な取組を聞くことで、市の取組を理解すると同時に、この取組に対して自分たちにできないか考えられるようにする。(GT) ○宇部市が食糧問題の解決に向けて取り組んでいるのは、SDGsを推進する都市に指定されていることを伝えることで、食糧問題以外の問題にも取り組んでいることを知れるようにする。(GT) ○SDGsに関わる写真を見せることで、普段何気なく取り組んでいることが実は世界の課題解決につながっていることを理解させる。 ○学習課題に立ち返り、本時で学んだことを活かして「地球に住む一人として自分たちにできること」について考えることで、今後の自分たちの
<p>3 本時を振り返り、今後の生活に生かしていこうとする意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の生活への見通し ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球に住む一人として自分にできることが見つかったよ。ぼくは親と買い物をする時に賞味期限に気を付けることで食品ロスを少なくしていきたい。また、 	

		生活に活かしていこうとする意欲や態度を養う。
--	--	------------------------